



立て心よ 行け私よ

No. 5

【問題解決力】 【他者関係力】 【自己更新力】

文責:中村 文成

2学期スタート 自己実現のために

【2学期始業式 校長先生のお話より】

楽しかった夏休みが終わりました。皆さんどんな夏休みでしたか。

学校の代表として広島の平和記念式典に参加した皆さん、墨坂祭での発表を楽しみにしています。中国の四平市への訪問は、中国の気象状況の都合で中止になってしまい、大変残念でした。そして、部活動での大活躍がありました。吹奏楽部は北信大会で見事金賞。県大会で銅賞。合唱部は北信大会で銀賞をとりました。陸上部は北信越大会で、男子 1500mで山岸大智さんが優勝、400Mリレーでは原修斗さんがクラブチームの一員として4位入賞、卓球個人では亀田葵大さんが、クラブチームの全国女子軟式野球大会では黒岩純羽さんが、カー杯戦いました。

そして、8月20日に行われた全国中学校体育大会で山岸大智さんが自己ベストを出して3位に入賞しました。全国3位です。すごいことです。おめでとうございます。昨日、先生達は配信されていたライブ映像を職員室の大画面で観戦しました。先生方も2学期のスタートにあたり元気をもらいました。改めてカー杯、健闘したみなさんに拍手をおくりましょう。



勝負の相手を
思いやる
それは人間力

これも人間力
「あきらめない
精神力」



さて、パリオリンピックでは、日本選手団の活躍が連日のように報道されました。メダルの数も海外でのオリンピック史上最多であり、日本選手の活躍に多くの感動や勇気をもらったのではないのでしょうか。1学期の終業式でお話したように、「勝負の場でも相手を思いやる」ような、勝ち負けの嬉しさや悔しさだけではないもの、つまり人間力に心を動かされたことはあったでしょうか。私がライブ映像等から感じたことをお話しします。それは、「あきらめない精神力」ということです。

体操男子団体。最後の鉄棒を残して1位の中国との差は3点以上あり、まず逆転は不可能と言ってもいい差でした。しかし、結果、その3点差をひっくり返してわずか0.532の差で、金メダルをとりました。最終種目は鉄棒で、中国選手の落下もありましたが、日本の選手はあきらめることなく、強い精神力で全員が大きなミスをせずにやりきった結果だったと思います。

スケートボード、ストリートの堀米雄斗選手。決勝では「ベストトリック」4本目を終えた時点で7位。金メダルをとるには、最後の1本で96.98点以上を出さなければならない状況でした。2本目から3回連続で同じ大技に挑み、失敗。最終5回目で見事その大技を成功させて、この日の最高点97.08を叩き出して劇的な逆転でオリンピック2連覇を達成したのでした。

堀米選手は次のように語っています。

「4本目、ミスった時はほんとにマジか ここでこれかと結構思っていたので、守りの滑りでいったら



絶対に悔いも残るしメダルも取れないと思ったから、ここまで来たら最後乗れるか分からないけど、「あのトリック」で最後もいきたいと思いましたね。」

「東京オリンピックが終わってから、もちろん楽しいこともありました。どちらかという、本当にキツイことの方が多くて、オリンピックにもいけるか分からない状況で、何をやってもうまくいかないこともありました。その中で自分がどんどん変わっていかないといけないっていうのは分かっていたので、その中で今回の決勝での最後のトリックとかも生まれていった。本当にキツイ3年間でしたが、その3年間を乗り越えられたからこそ、結果につながったのかなと思います。」

「特にオリンピック予選では予選落ちも続いたので、本当にオリンピックにいけるか分からない状況で、最後の大会で1位を取ればという状況だった。わずかな1%の可能性を信じて、今回のオリンピックの最後の最後まで信じてこられたのが優勝の鍵になったと思います。」と語っています。



もう一つ、ちょっと角度を180度変えますが、日本が惜しくも負けてしまった競技も、相手側からすれば「あきらめない精神力」がそこにはあったのだと思います。バスケット男子のフランス戦。第4クォーター残り10秒。84対80で日本がリードしていた場面。ここでのフランス選手のスリーポイントシュートを決めきった精神力。そして審判の判定に対するいろんな意見はありましたが、ファールによるプラスワンスローで同点。延長の末フランスの勝利。また、バレー

ボール男子の準々決勝イタリア戦。セットカウント2対1で日本が勝っていて、第4セット日本が24対21で3点リードのトリプルマッチポイントからのイタリアの大逆転勝利。いずれも、私は日本が勝ったと思いますが、相手の「あきらめない精神力」にやられたと言ってもよいのではないのでしょうか。

「あきらめない精神力」をクローズアップしてきましたが、忘れてはならないことがあります。それは、そうした「あきらめない精神力」をもてること、そして結果につなげるためには、それを裏打ちする日々の努力つまり、質の高い練習や研鑽があつてのことだと言うことです。つまり、「あれだけのことをやってきたんだから、負けるはずがない。逆転できる。成功できる。」と思える努力が必要だということです。今朝の信濃毎日新聞の山岸大智さんの記事を読むにつけ、山岸さんはこの「あきらめない精神力」とそれを裏打ちする日々の努力があつたのだと思いました。

皆さんも、学習に部活動に「あきらめない精神力」を発揮できるような日々の努力を積み重ねていきましょう。

さて墨坂中の夏休みです。三者懇談会やスペシャルアドバンスタイムで自信を深め、課題を解決し、自己更新をしている姿、生徒会役員の皆さんが墨坂祭の準備をしている姿、生徒会サミットや学校保健委員会の発表等で活躍している姿、各部活動が練習や練習試合に汗を流す姿、緑化委員の皆さんが花壇に水やりをする姿等がみられました。

あきらめない精神力

↑

裏打ちする**日々の努力**
つまり、**質の高い練習や研鑽**

終盤力 山岸 3位 (陸上男子1500)

あきらめない精神力

裏打ちする**日々の努力**
つまり、**質の高い練習や研鑽**

皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか。今までできなかったことを含めて、家族とゆっくりと過ごした人が多いのではないのでしょうか。朝、昇降口では笑顔で明るい声で挨拶ができる生徒が何人もいて、元気ができました。きっと楽しい思い出がいっぱいで、充実した夏休みだったんだと思います。校長先生は、みなさんが大きなケガや事故もなく元気で登校できたことをうれしく思います。



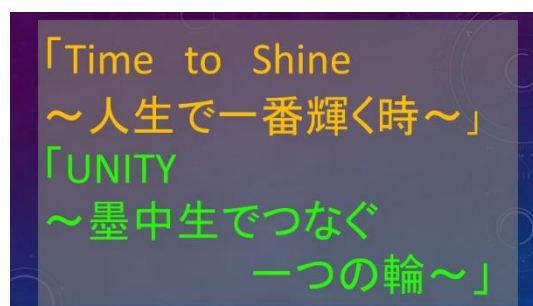
いよいよ今日から2学期が始まります。暑い夏から秋を過ぎて雪の降る冬まで続きます。

84日間という1年間で一番長い学期です。各学年代表の保坂実祈さん、田幸礼鈴さん、中沢美紗希さんの3名のみなさんがその決意や抱負を発表してくれました。

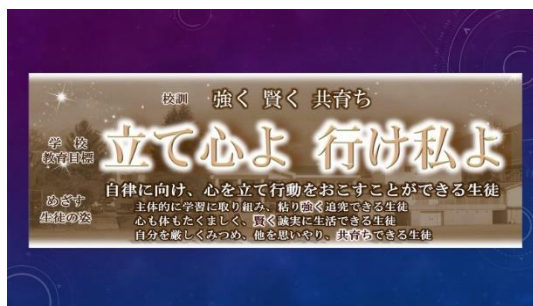
今、発表してくれた3人の友達のように、2学期の目標やめあてを決めた人も多いことと思います。その2学期の出発にあたり、これからの2学期、皆さんに期待することを2つ話します。

まず、1ヶ月後には生徒会最大行事の「墨坂祭」があります。墨坂祭をみんなの力を合わせて成功させましょう。成功させるとは、100日前集会での説明がありましたが、墨坂祭を通して「Time to Shine ～人生で一番輝く時～」を、そして、生徒会目標である「UNITY～墨中生でつなぐ一つの輪」を達成することです。

ぜひ一人ひとりが展示や発表・合唱に向けて努力を積み重ね、自分の精一杯を存分に発揮する。そして、その過程の中で、それぞれが友を大切に、友達とたくさん話すことで、絆を深めよりよい人間関係を築きあげていくことが、「UNITY」につながり、「Time to Shine」となり、目標達成につながります。頑張りましょう。



二つ目は「自律に向け、心を立てて行動をおこすことができる生徒」をめざしてください。自律とは自分の気ままを押さえ、自分の事は自分でやって行くことです。人間楽な方に流されそうになることは沢山あります。みんなが選択するから、自分もそっちに流されてしまおうではなく、自分で考え自分で判断できる中学生になって欲しいと思います。誰かの後について行動する自分、集団でしか行動できない自分ではなく、「ひとり立ち」できる自分を作ってください。それが自律への第一歩です。



3年生にとっては、自分の将来に大きく関わる進路選択の時が、この2学期にやってきます。1、2年生にとっても、あっという間にその時が訪れます。中学の3年間は本当にあっという間です。誰かのためではないのです。ぜひ自分の自己実現のために、今以上に勉強してください。当たり前のことですが、1時間1時間の授業を大切にすることと家庭学習を今以上にしてください。

皆さんに期待することを2つお話ししました。

全校458人、先生方49名、みんなで実現させましょう。



令和6年度 部活動 大会・コンクールの結果 (一部)

大会結果については、HP 上では割愛いたします

資源回収、ありがとうございました

8月24日(土)、残暑の中、PTA支部と地区生徒会が協力して、資源回収が行われました。今年も、地域の皆様にご協力いただき、多くの資源物が集まりました。

収益金につきましては、生徒の活動のため、学校の教育活動の充実のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました



段ボールの回収



アルミ缶を専用の袋に詰めます



古紙は種類別に分けます。生徒たちは自主的に、きれいに積み重ねてくれました！



暑い中お疲れ様でした